

山形日和。 



心が和む
紅花のみち



お問い合わせ

やまがた観光情報センター TEL.023-647-2333

やまがた広域観光協議会(山形県村山総合支庁観光振興室) TEL.023-621-8444

日本人と紅

日本人にとって「赤」は生命を象徴する色として呪術的、祭祀的な意味合いを持っていました。人生の節目で行われる「初宮参り」、「七五三」、「婚礼」、「還暦」などの儀式では「紅」が魔除けとして使われるなど、昔から「赤」そして「紅」は日本人の生活に根付いていました。



山形と紅花

紅花の伝来

原産地はエチオピアともいわれ、エジプトからシルクロードをたどって6世紀頃に日本に伝来したといわれています。山形県では15世紀半ばから栽培が始まったとされていますが、江戸初期には質・量とも日本一の紅花産地として栄え、最盛期には全国の50～60%を山形産が占めました。「まゆはきを俵(おもかげ)にして紅紛(べに)の花」の句は、芭蕉が奥の細道の旅の途中、この地を訪れた時に詠んだものです。当時は、紅花なくして山形を語れなかったのでしょうか。

山形に広まったきっかけ

気候・土壌が栽培に適していたということもありますが、山形の他に、奥州福島・奥州仙台・奥州三春・西国肥後・尾張・遠江・相模などで生産されていましたので、気候・土壌が決定的な要因だったというわけではなさそうです。むしろ、最上川の舟運で山形と京都や大阪が北前船によって深く結びつき、紅花商人たちが活躍したことが、産地の拡大に繋がったといわれています。

明治以降の紅花

明治に入ると外国からの化学染料が台頭し、紅花生産は急に衰退してしまいます。しかし戦後になって、山形県を代表する花として再び紅花が注目されはじめます。

近年は天然染料として見直されてきており、山形県内では昔ながらの製法で作られた紅もちやすり花が生産されています。

わずか1%の紅花

収穫時期の紅花畑は一面、黄色で埋め尽くされます。紅花からは黄色と紅色の二色を抽出することができますが、そのうち99%以上が黄色、残りのわずか1%未満が紅色です。紅花からとれるほんのわずかな「紅」の原料となる紅もちの価格は、「米の百倍、金の十倍」と謳われるほど高級だったのです。

まめ知識 1

半夏ひとつ咲き

夏至から数えて11日目、半夏生のその日。まだ青々とした紅花畑にたった一輪の花が開きます。これを合図に紅花畑は日ごと鮮やかな黄色に染まります。何本植えていても、咲き始めるのはこの日たった一輪だけ。紅花の不思議です。



紅花の加工品



紅もち(花もち)

紅花染めなどに使用



すり花

紅花染めなどに使用



乱花

主に食品加工品に使用

まめ知識 2

紅花若菜

紅花の若菜は、クセもなくおいしい食材です。近年は、新しい食材として、スーパーや産地直売所などで販売されるようになりました。若菜を天日干したものは「紅花(若菜)干し」といわれ、保存食として煮物の材料に最適です。





紅花まつり



山形紅花まつり

山形市

毎年7月中旬に、映画「おもひでぼろぼろ」の舞台のモデルになった山形市高瀬地区で開催されます。紅花のプレゼントや即売、写真撮影会など楽しい催しがたくさんあります。

- ◆開催時期／7月中旬
- ◆場所／山形市高瀬地区(高瀬紅花ふれあいセンター・高沢地区)
- ◆問合せ／山形紅花まつり実行委員会 TEL:023-686-3341



河北町紅花資料館べに花まつり

河北町



毎年7月上旬に紅花資料館で開催されるまつりです。紅花摘み体験や紅花の切り花展、露店販売などを楽しめます。

- ◆開催時期／7月上旬
- ◆場所／河北町紅花資料館
- ◆問合せ／(一社)河北町観光協会 TEL:0237-72-3787

おくのほそ道天童紅花まつり

天童市

約1万本の紅花が見事に咲く市内上貫津紅花畑で、7月上旬～中旬に開催されます。山の斜面を埋め尽くす一面の紅花と染物体験が楽しめます。

- ◆開催時期／7月上旬～中旬
- ◆場所／龍神の里じゃがらむら・上貫津紅花畑
- ◆問合せ／天童市経済部商工観光課 TEL:023-654-1111



白鷹紅花まつり

白鷹町

紅花を使った体験メニューや伝統工芸、地元の売店などが祭りを盛り上げます。7月中旬に町内4カ所を拠点に開催されます。

- ◆開催時期／7月中旬
- ◆場所／白鷹町内(滝野交流館・萩野大日堂・十王八卦地区・山峡紅の里)
- ◆問合せ／(一社)白鷹町観光協会 TEL:0238-86-0086

旧柏倉九左衛門家紅花まつり

中山町

紅花栽培や交易を生業にしていた旧柏倉家で毎年7月上旬に開催されます。紅花摘み体験会や写真コンテストも行われます。

- ◆期日／7月上旬
- ◆場所／旧柏倉家住宅 ほか
- ◆問合せ／旧柏倉九左衛門家紅花まつり実行委員会
TEL:023-662-2235



河北町 村山市 大石田町 尾花沢市

最上川舟運による紅花交易が育んだ 紅花文化ゆかりの地を訪ねてみましょう

最上川の中流域は、氾濫原と朝霧や朝露が降りやすい気候条件で紅花栽培に適し、沿岸の集落は紅花の主要な産地となりました。また、紅花は最上川舟運により上方に運ばれ、豊かな文化がもたらされました。紅花交易で栄えた地に行ってみませんか。



1 河北町紅花資料館 河北町

紅花染め体験や
素敵な古民家で
良事が楽しめます。
(要予約)



江戸時代、紅花商人として財を成した旧堀米邸を紅花資料館として復元した施設です。武者蔵の公開や古文書や当時の装飾品、享保雜等の展示をはじめ、紅花染めの体験や古民家で地元の農産物を使ったお食事をいただくこともできます。

河北町谷地成1143 ☎0237-73-3500 営 9:00~17:00(3月~10月)、9:00~16:00(11月~2月)
休 毎月第2木曜日(祝日の場合は翌日)12月29日~1月3日 料 大人400円、高校生150円、児童生徒70円



2 林家舞楽 河北町

山寺建立とともに上方より伝えられた舞楽です。谷地八幡宮神職林家により一子相伝で1100余年にわたり伝承されています。9月の谷地八幡宮例大祭(谷地どんがまつり)において、厳かに奉奏され、その時に紅花染めの衣装が用いられます。

谷地八幡宮 河北町谷地224 ☎0237-72-2149
時 谷地どんがまつりに開催(敬老の日を含む3連休)

3 大石田町立歴史民俗資料館 大石田町

齋藤茂吉や洋画家 金山平三、日本画家 小松均など、大石田町にゆかりのある文学者や芸術家の作品をはじめ、江戸時代後期に描かれた「大石田河岸絵図」など、最上川舟運と紅花を積み出した大石田河岸に関する資料や雛人形等を収蔵・展示しています。



大石田町大石田乙37-6 ☎0237-35-3440
営 10:00~16:30
休 毎週月曜日(祝日は開館・祝日の翌日、12月29日~1月3日、展示替え時)
料 大人200円、高校生・大学生150円、小中学生100円、障がい者手帳お持ちの方及び付き添いの方2名まで無料

4 おばなざわ花笠まつり(尾花沢まつり囃子) 尾花沢市

毎年8月27日・28日に開催される「おばなざわ花笠まつり」では、花笠踊り発祥の地「尾花沢」の本物の花笠踊りが披露されます。大正時代灌漑用水「徳良湖」の築堤の際に唄に合わせて即興で振り付けをしたのが始まりと言われています。また、花笠まつりの初日に行われる諏訪神社大祭。その祭囃子は、紅花交易が盛んだった頃にもたらされた宮廷の流れをくむ組曲です。諏訪神社の遷宮を祝う出し物として奉納されています。



尾花沢市商工観光課 ☎0237-22-1111

5 芭蕉、清風歴史資料館 尾花沢市

旧丸屋・鈴木弥兵衛家の店舗と母屋を復元した貴重な建物です。紅花を扱う商人で尾花沢の豪商として知られた鈴木清風と芭蕉に関する貴重な資料の収集、保存、展示を行っています。



尾花沢市中町5-36 ☎0237-22-0104
営 9:00~16:30(3月~10月)、9:30~16:30(11月~2月)
休 毎週水曜日、展示替え時、12月28日~1月4日
料 大人210円、学生100円、中学生以下無料、障がい者手帳お持ちの方大人100円

6 最上川三難所舟下り 村山市

最上川三難所(碁点・三ヶ瀬・筆)は流れが急で、岩盤がむき出しになっている所が多く、最上川舟運が栄えていた時代は、船頭たちに最も恐れられていた難所でした。現在は、多くの方がスリルのある舟下りを楽しんでいます。



村山市大字榎下金谷1110-2 ☎0237-56-3535
営 出航時間/10:00、11:50、14:00、16:00(1日4便)
(11月11日~4月30日の期間は10:00のみの1便となります。)
料 大人2,000円、こども1,000円(団体割引有)

ちよっと寄りみち【産直センター】紅花切花、紅花若菜等取り扱っています。



アグリランドひな産直センター
紅花切花、紅花茶、紅花染めセットなど
紅花関連商品の販売
河北町谷地字下野281 ☎0237-85-1610
営 9:00~18:00



アグリランド産直センター
紅花切花の販売
寒河江市寒河江久保2 ☎0237-84-7888
営 9:00~18:00(4月~12月)
9:30~17:30(1月~3月)
休 年始



よつてけポボラ 東根市
紅花切花の販売
東根市中央東3-7-16 ☎0237-41-0288
営 9:00~17:30(6月~11月)
9:30~17:30(12月~5月)
休 1月1日~1月3日



どりのむ農園直売所 白鷹町
紅花切花、紅花若菜、紅花若菜干し、
紅花入り漬物・菓子などの販売
白鷹町畔藤9053-30 ☎0238-85-2922
営 9:00~18:00 休 1月1日~1月5日

天童市 寒河江市

芭蕉が紅花の句を詠んだ旧山寺街道や 出羽の古刹を訪ねてみましょう

芭蕉が尾花沢から山寺へ向かう途中に紅花畑を見て詠んだと言われている句碑や縁結びの観音様として親しまれている若松寺、厳かに時を刻む慈恩寺を巡ってみるのはいかがでしょうか。



1 本山慈恩寺本堂 寒河江市

天平18年(746年)にインドの婆羅門僧正が聖武天皇の勅命により開山。現在の本堂は元和4年(1618年)に山形城主最上氏が再建。室内には秘仏33体を含む多くの仏像が安置され「文化財の宝庫」と言われています。5月5日の慈恩寺舞楽では、紅花染め衣装をまとった演目も奉納されます。



多くの文化財
があります。

寒河江市大字慈恩寺地籍31 ☎0237-87-3993 営8:30~16:00
料大人700円・学生500円・中学生以下無料

2 鈴立山若松寺 天童市

和銅元年(708年)に開山した霊場です。室町時代に入り観音信仰が栄え、最上三十三観音の第一札所霊場として隆盛を極めました。「縁結びの観音様」として有名であり、毎年多数の巡礼者が訪れています。



天童市大字山元2205-1 ☎023-653-4138

3 龍神の里・じゃがらむら 天童市



県内産のそば粉を使い、朝から打ったそばを提供しています。天ぶらも地元産の新鮮な野菜を使っています。また、生芋から加工して作った手作りのこんにゃくも期間限定で販売しております。近くの紅花畑に花が咲く7月上旬ごろ紅花まつりが開催されます。

天童市貫津1374-1 ☎023-653-0015
営11:00~14:00(水除く、月~金) 11:00~14:30(土、日)
休毎週水曜日

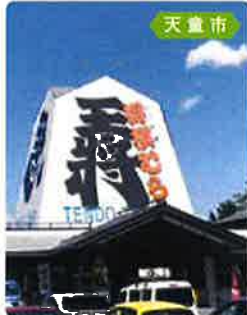
4 私の部屋 天童市

綿ハンカチ、花瓶敷き、タペストリー、網スカートなどの素材に、輪ゴムや割り箸、将棋駒でしぼり模様や枝染めのように模様を作り、染め上げます。「紅花染め」は通年でありますが、「紅花すり染め」は紅花開花時期限定となっています。



天童市本町1-1-2 天童駅前パルテ1階 ☎023-654-5045
営10:00~18:00 休第3月曜日

5 将棋むら天童タワー



おみやげ品や特産品の販売、お食事をしていただける施設です。また、大判のローンハンカチに紅花染料で染めていただき、その場でお持ち帰りできる紅花染教室やそば打ち体験教室、陶芸教室等の様々な体験教室もあります。

天童市久野本1273-2 ☎023-653-3222
営8:00~18:00(ドライブイン)

6 芭蕉の句碑 天童市

芭蕉が、山寺参詣の途中、紅花畑を目にして詠んだと言われている場所に句碑があります。「眉掃きを俤にして紅粉の花」は、紅花の花が化粧の時に使う刷毛の形に似ていることから眉についた白粉を落とす女性の姿を思い描いたと言われています。



天童市上藪野戸地内

7 古澤酒造資料館 寒河江市



もともとは、紅花を扱う舟運業を営んでいました。天保7年(1836年)に創業した酒蔵で、資料館には、昔ながらの酒造りの道具等を展示しています。

寒河江市丸内3-5-7 ☎0237-86-5322
営10:00~16:00 休年末年始

ちょっと寄りみち【お茶のじかん】紅花を使用したおいしい食べ物はありますか？

創業文久年間 文四郎麩 東根市

紅花入り ふ餅 486円(税込)

小麦に含まれるグルテンの力でふっくらもちもちに蒸した「紅花入りふ餅」。六田地区で昔から伝わる懐かしい伝統の味です。



東根市六田2-2-20 ☎0237-42-0117

壽屋寿香蔵 東根市

紅花染めたくあん 453円(税込)

天日でじっくり干した秋大根を漬けたんだ本格的なたくあんです。たくあんの黄色は山形県の花「紅花」を使って染めています。



東根市本町6-36 ☎0237-42-0173 営9:30~18:30

べに花茶

1袋 300円(税込)

紅花は昔から冷えに効く血行を良くする薬などに利用されていることからお茶にしました。また、乾燥させた紅花の種を焙煎することにより、香ばしく飲みやすくなっています。



販売元:河北べに花茶
取り扱い先:河北町紅花資料館売店、
アグリランドひな産直センター

山形市 中山町

紅花栽培の発展に寄与した山寺、紅花で栄えた豪商、豪農の屋敷を巡ってみましょう

山寺の開祖慈覚大師等によって伝えられたという説のある紅花栽培。山形市や中山町には江戸時代に紅花で財を築いた豪農、豪商の屋敷が今も残っています。この地を巡って古の紅花を想像してみるのはいかがでしょうか。



1 紅の蔵 山形市



かつて紅花商人として栄えた長谷川家の蔵屋敷を活用した施設です。観光情報のもと、旬産旬食をテーマとした食の発信、地産特産品や農産物の販売、初夏には紅花をテーマとした企画展示が行われています。

山形市十日町2-1-8 ☎023-679-5101 店舗によって異なる 休 1月1日~1月3日

産直、おみやげ、食事などが楽しめます。



4 旧相倉家住宅 中山町

当主は九左衛門と名乗り、村山地方を代表する農家・地主であり、近世では同地方で最多級の紅花生産者となり、近代では金融業にも手を広げ豪農となりました。仏間や前蔵は、その高度な意匠や建築技術、ふだんに用いられた漆や金箔、銘木は莫大な資産が投じられたものであり、信仰心の高さを示しています。令和元年9月に重要文化財に指定されました。(重要文化財)

中山町岡8 ☎023-687-1778 (旧相倉家住宅)

5 山寺芭蕉記念館 山形市



芭蕉が山寺を訪れてから300年を記念して平成元年に建てられました。記念館には芭蕉直筆の資料や紅花の栽培から収穫、紅もちに加工して上方まで運ぶ様子を描いた「紅花屏風」(県指定有形文化財)などを収蔵しています。喫茶コーナーでは抹茶も味わえます。

山形市大字山寺字南院4223 ☎023-695-2221

営 9:00~16:30 休 不定休、年末年始、展示替のため臨時定休日 料 大人400円、高校生以下無料

6 山形花笠まつり 山形市

毎年8月5日から7日まで開催される山形花笠まつりは、威勢のいい掛け声と花笠太鼓の勇壮な音色の中、山車を先頭に、あでやかな衣装の踊り手が花笠を手に華麗な群舞を繰り広げる祭りです。花笠は、紅もちをむしろに広げて干す様子を表しており、踊り手が繰り歩くさまは一面紅花畑が広がる光景を再現しています。



3 立石寺根本中堂 山形市

延文元年(1356年)初代山形城主・斯波兼頼が再建した入母屋造・5間4面の建物で、ブナ材の建築物では日本最古と言われています。室内には、慈覚大師作と伝えられる木造薬師如来坐像が安置され、伝教大師が比叡山に灯した灯を立石寺に分けたものを織田信長の焼き討ちで延暦寺を再建したときには逆に立石寺から分けたという、不滅の法灯を拝することができます。



参拝料/200円

2 宝珠山立石寺(山寺) 山形市

慈覚大師円仁が貞観2年(860年)12月、清和天皇の勅許を得て創建したと伝えられる古刹です。紅花栽培に深く関わり、比叡山との縁故から近江商人を惹きつけ、紅花交易の発展を加速させました。元禄2年(1689年)、芭蕉が弟子の曾良とともに訪れ、「閑さや岩にしみ入る蟬の声」の名句を「奥の細道」に残しています。

山形市大字山寺4456-1 ☎023-695-2843

入 入料/大人300円、中人(中学生)200円、小人(4歳以上)100円

ちょっと寄りみち【お茶のじかん】紅花を使用したおいしい食べ物はありますか？

漬物処 やたら漬本店 山形市

おみ漬 小 300円(税抜) 大 500円(税抜)

おみ漬は青菜を細かく刻み、他の野菜とともに漬けたものです。余った青菜等を無駄にしない手法として紅花を求めて訪れた近江商人が漬物にした「近江漬け」が訛って「おみ漬け」となったものです。



山形市旅籠町2-1-5 ☎023-634-4108 営 9:00~19:00

乃し梅本舗 佐藤屋 山形市

乃し梅 600円(税抜)~

江戸時代、紅花染めに用いるために多く栽培された梅の実を活用し、試行錯誤の末にできた元祖山形の名物菓子です。



山形市十日町3-10-36 ☎023-622-3108 営 8:30~18:00

和菓子ぬまざわ 白鷹町

羊羹 日本の紅(あか) 850円(税込)

白鷹町名産の紅花を使用した色鮮やかな羊羹です。紅色羊羹には紅花の天然色素、黄色羊羹には紅花の花びらを練り込んでいます。



白鷹町大字荒砥甲716-4 ☎0238-85-2374 営 8:30~18:00

白鷹町

あか
紅花生産日本一、「日本の紅をつくる町」で
様々な体験をしてみましょ

紅花の生産日本一を誇る「日本の紅をつくる町」白鷹町では、紅花染めはもとより、和紙漉き、織機など様々な体験ができます。また、紅花が咲いている時期には紅花摘み体験もできます。



花摘み体験の
摘んだ量に応じて
贈礼をお渡し
します。

1 紅花の館

のんびりと農山村風景の中で田舎暮らしが体験宿泊できる会員制農家山荘です。体験メニューのみも可で、紅花染め、ドライフラワーづくり、リースづくり、紅花酒づくり等の体験の他、紅花の開花時期には紅花摘み体験もできます。

白鷹町大字十王1707-1
☎0238-85-1883
🕒9:00~17:00
📅不定休

2 小松織物工房 白鷹町

全国でも珍しい「板締緋染め」という技法で緋染めを行っています。その技法は経済産業大臣指定の伝統工芸とされています。昔は織の工程を農閑期の農家に依頼していましたが、現在では染めから織りまでのすべての工程を工房で行います。約130年以上にわたり独特の技法を受け継いでいます。事前予約で体験できます。



白鷹町十王2200 ☎0238-85-2032 🕒10:00~16:00 📅日・祝日



3 山峡紅の里 白鷹町

紅花をより身近なものとして感じてもらうために紅花関連商品の展示、紅花体験等行っている施設です。紅花まつり開催時には会場の一つとなり、大変きれいな紅花をご覧いただけます。

白鷹町大字十王4068-2 ☎0238-85-2102
🕒9:00~17:00 📅土日祝日(予約があれば体験可)



4 深山和紙振興研究センター 白鷹町

深山和紙は楮を原料とする手漉き和紙です。その起源は約400年前で、上杉藩の御用紙として用いられました。当センターでは、和紙漉き体験や絵つけ体験などをすることができます。

白鷹町大字深山2527 ☎0238-85-3426
🕒9:00~17:00(体験は10:00~17:00) 📅休 不定休

5 白鷹人形研究会 白鷹町

深山和紙を使った、和紙花、結びびな、まるちゃん人形を作る体験ができます。(要予約)

白鷹町大字深山1966 ☎080-2814-6968
🕒5月~10月:水曜・日曜 10:00~15:00
11月~4月:水曜日 10:00~15:00



👣 ちょっと寄りみち【おかいもの】河北町紅花資料館となりの物産館をのぞいてみました



紅花染めハンカチ
大 1,600円 小 1,300円



紅花染めスカーフ 3,600円~



紅花染めチーフ 1,320円



紅花染めネクタイ 12,800円



小町紅 11,000円~



紅花染めティッシュケース 800円



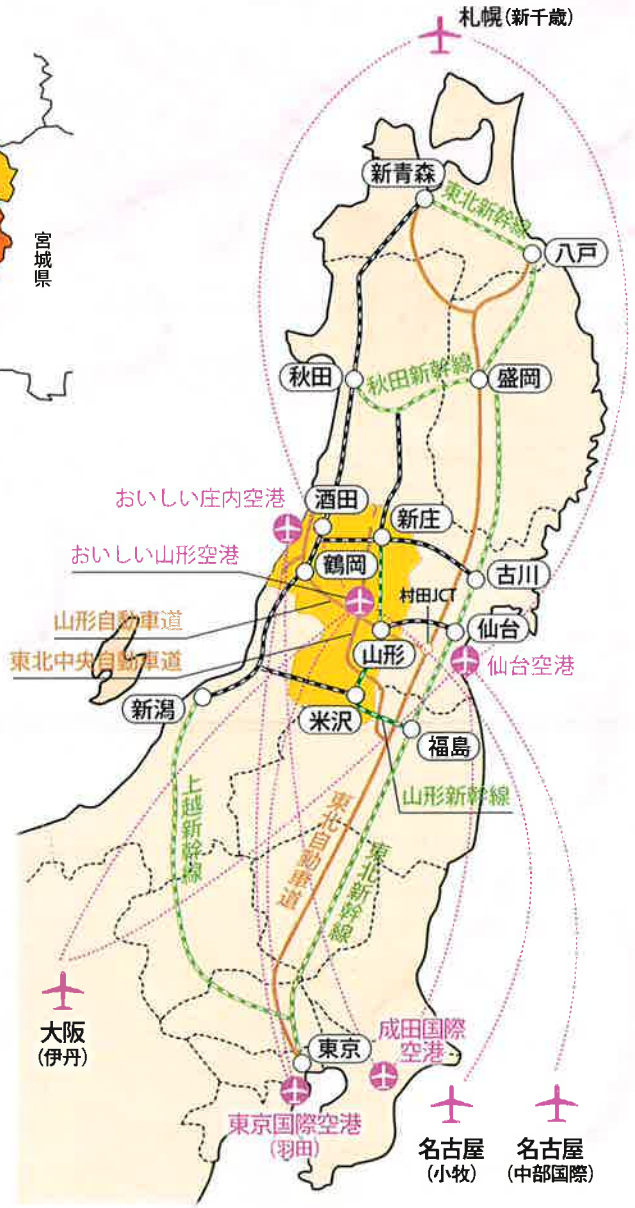
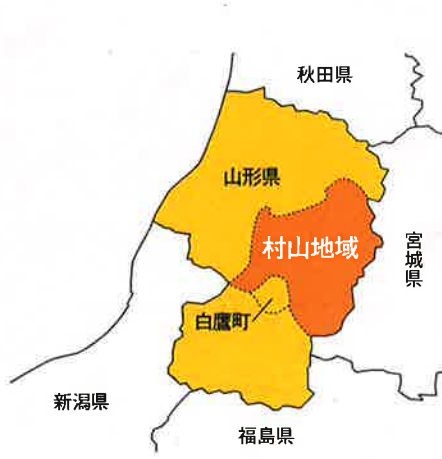
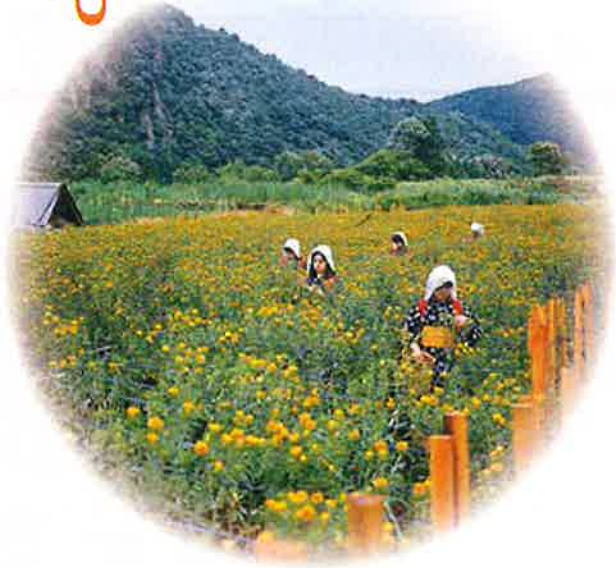
卓球用紅花スリッパ 1,700円



紅花スリッパ 1,300円~

※すべて税込。この他にも紅花に関するお土産があります。

ACCESS MAP



交通アクセスのご案内

東京から	
飛行機で	羽田空港 → JAL 約65分 → おいしい山形空港 → 山形空港シャトル 約35分 → 山形市内
電車で	東京駅 → 山形新幹線「つばさ」 約2時間30分 → 山形駅
バスで	東京 → 高速バス 約5時間30分 → 山形市内
お車で	浦和本線(川口JCT) → 東北自動車道 約3時間50分 → 村田JCT → 山形自動車道 約30分 → 山形蔵王I.C
仙台から	
電車で	仙台空港 → 仙台空港アクセス鉄道 約20分 → 仙台駅 → 仙山線 約65分 → 山形駅
バスで	仙台駅 → 高速バス 約1時間10分 → 山形市内
お車で	仙台宮城I.C → 東北自動車道 約10分 → 村田JCT → 山形自動車道 約30分 → 山形蔵王I.C

各地の紅花祭りの情報や見頃情報はインターネットでもご覧いただけます

やまがた広域観光協議会

令和3年度「山寺と紅花」観光誘客旅行商品造成助成金交付要領

(目的)

第1条 東北DC開催期間に合わせて、日本遺産「山寺と紅花」の構成文化財を組み込んだ旅行商品を造成し、紅花や紅花文化への関心を高めて近県からの誘客を図ることを目的に、やまがた広域観光協議会(以下「協議会」という。)は、この要領に定めるところにより、予算の範囲内で助成金を交付する。

(助成対象事業)

第2条 助成の対象は以下のとおりとする。

(1) 実施期間

令和3年6月25日から令和3年11月28日の期間を出発日とする商品を対象とする。

(2) 交付の要件

ア 貸切バス(高速道路の車種区分が中型車以上のもの)を利用した旅行商品であること。

イ 次に示す①及び②の条件を全て満たしたツアーであること。

① 宝珠山立石寺(山寺)の参拝と門前町散策。

② やまがた広域観光協議会が制作した「通年周遊パンフレット『心が和む紅花のみち』」に掲載されているコンテンツを1つ以上入れること。

<https://yamadera-benibana.jp/wp2/wp-content/uploads/2020/07/1560e05fa10e21250869f7034fcf1c4e.pdf>

ウ 新型コロナウイルス感染防止対策を講じた旅行商品であること。

(3) 助成先

旅行業法(昭和27年法律第239号)第3条の規定に基づく登録を受けている旅行業者(以下「旅行会社等」という。)とする。

(4) 助成額

助成額は以下のとおりとする。

ア 宿泊を伴う旅行商品について、貸切バス1台あたり4万円とする。

ただし15人未満で催行する場合には、2万円+1千円/人とする。

イ 日帰りの旅行商品について、貸切バス1台あたり2万円とする。

ただし15人未満で催行する場合には、1万円+500円/人とする。

ウ 助成上限額は、原則1者あたり12万円とする。

(交付申請)

第3条 本助成金の交付を受けようとする旅行会社等は、交付申請書(様式第1号)により、原則として旅行実施日の30日前までに協議会に申請する。

(交付決定)

第4条 協議会は前条の規定により交付申請書の提出があったときは、審査のうえ、助成金の交付を適当と認めた事業について、予算の範囲内において決定し、申請者に通知(様式第2号)するものとする。

2 申請者は前項の規定により交付決定されたときは、募集に際してのチラシ、ホームページ、企画書面又は行程表等に「やまがた広域観光協議会『山寺と紅花』観光誘客旅行商品造成助成事業」を活用する旨を明記するものとする。

(事業の変更等)

第5条 申請者は、交付決定された事業の内容を変更又は中止する場合は、すみやかに事業変更(中止)申請書(様式第3号)を提出し、協議会の承認を受けなければならない。

(実績報告)

第6条 申請者は、第4条の規定により採択された旅行商品の催行後、すみやかに実績報告書(様式第4号)を協議会に提出し審査を受けなければならない。

(助成金の額の確定及び支払い)

第7条 協議会は、前条の規定に基づき実績報告書の提出があったときは、審査を行い、事業の実施結果が本要領に適合すると認めたときは、交付すべき助成金の額を確定し、これを申請者に通知(様式第5号)するものとする。

2 協議会は、前項の規定に基づき申請書に対し助成金の確定額を通知したときは、すみやかに実績報告書(様式第4号)に記載の金融機関口座に助成金を入金するものとする。

この場合、振込手数料については、協議会が別に負担する。

附 則

この要領は、令和3年4月23日から施行する。

附 則

この要領は、令和3年7月14日から施行する。

(様式第1号)

令和3年度「山寺と紅花」観光誘客旅行商品助成金交付申請書

(申請日) 令和 年 月 日

やまがた広域観光協議会
会長 佐藤 孝弘 様

(申請者) 企業名
代表者職名
氏名
連絡先住所 〒
電話番号

印

下記のとおり助成金交付を申請します。

記

1 商品概要

商品名					
催行予定日 (催行回数)	令和 年 月 日 ~ 年 月 日 (催行回数: 回)				
1 催行当たり 募集人数	人	1 催行当たり バス台数	台	出発地	
宿泊先等	いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 宿泊商品 <input type="checkbox"/> 日帰り商品 泊数: 泊 宿泊先: _____ 交付要領第2条(2)イ②に規定する立寄先 _____				
コロナ防止 対策の有無	いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				

※複数商品を申請する場合は、必要に応じて表を追加してください。

2 添付資料

- (1) 企画書又はチラシのイメージ等商品概要がわかる資料。
- (2) 新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた旅行商品であることが確認できる資料

【御担当者様】

部署名 _____

氏名 _____

TEL _____

FAX _____

E-mail _____

(様式第2号)

令和3年度「山寺と紅花」観光誘客旅行商品助成事業採択（不採択）通知書

申請者 殿

令和 年 月 日付けで申請のあった令和3年度「山寺と紅花」観光誘客旅行商品助成金については、申請書を審査した結果下記のとおりでしたので通知します。

記

採択します。

商 品 名 : _____

助成予定金額 : _____ 円

については、催行後、令和 年 月 日までに、確実に事業実績報告書を提出してください。

採択しません。

令和 年 月 日

やまがた広域観光協議会
会 長 佐藤 孝弘

(様式第3号)

令和3年度「山寺と紅花」観光誘客旅行商品助成事業変更（中止）申請書

(申請日) 令和 年 月 日

やまがた広域観光協議会
会長 佐藤 孝弘 様

(申請者) 企業名

代表者職名

氏名

印

連絡先住所 〒

電話番号

令和 年 月 日付けで交付決定のあった令和3年度「山寺と紅花」観光誘客旅行商品助成金について、交付要領に基づき、下記のとおり事業を変更（中止）し、申請します。

記

1 商 品 名 :

2 変更（中止）の理由 :

3 変更（中止）の内容 :

4 添付書類（変更の場合）

旅行商品チラシ、ホームページの写し、旅行商品行程表及び企画書面など商品概要が確認できる書類

【御担当者様】

部署名

氏 名

TEL

FAX

E-mail

(様式第4号)

令和3年度「山寺と紅花」観光誘客旅行商品助成事業実績報告書

(報告日) 令和 年 月 日

やまがた広域観光協議会
会長 佐藤 孝弘 様

(申請者) 企業名
代表者職名
氏名
連絡先住所 〒
電話番号

印

下記のとおり事業実績を報告します。

記

1 事業実績

商品名					
催行日 (催行回数)	令和 年 月 日 ~ 年 月 日 (催行回数: 回)				
催行人数	人	バスの台数	台	出発地	
宿泊先等	いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 宿泊商品 <input type="checkbox"/> 日帰り商品 泊数: 泊 宿泊先: 交付要領第2条(2)イ②に規定する立寄先				
添付書類	「やまがた広域観光協議会『山寺と紅花』観光誘客旅行商品助成事業」を活用した旨が記載されたチラシ等			有 ・ 無	
	バス1台ごとの送客実績がわかるもの(宿泊明細、昼食明細、施設入場明細の写し)添付			有 ・ 無	

※複数商品を申請している場合は、必要に応じて表を追加してください。

2 助成額振込先

金融機関名

口座種別・口座番号

口座名義 (名称・氏名)

【御担当者様】

部署名

氏名

TEL

FAX

E-mail

(様式第5号)

令和3年度「山寺と紅花」観光誘客旅行商品助成金の額の確定通知書

申請者 殿

令和 年 月 日付けで実績報告のありました令和3年度「山寺と紅花」観光誘客旅行商品助成金について、下記のとおり助成金の額を確定しましたので通知します。

また、助成事業実績報告書（様式第4号）に記載の口座に入金の手続きを行いますので御承知ください。

記

商品名： _____

助成金の確定額： _____ 円

令和 年 月 日

やまがた広域観光協議会

会長 佐藤 孝弘